



生徒総会(第36期生徒会)に向けた取組

3月23日(火)に令和2年度生徒総会を実施します。生徒会執行部の17名は、冬休みのリーダー研修会のときから、生徒総会に向けての準備を進めてきました。第36期生徒会のスローガンは、「輝け！一人ひとりの星」です。「一人ひとりがお互い捉え方や意見、考えを表に出し、お互いに認め合うことで、皆が繋がって、太宰府西中学校生徒全員が輝いていきたい。」という思いが込められています。各専門委員会には、学級委員会の「想い合う星」、学習委員会の「高め合う星」、生活委員会の「大切にしよう星」、保給委員会の「守り合う星」、美化委員会の「気付き合う星」というテーマがあり、日常生活の中での取組を大切にしていこうとしています。2月中旬から、執行部が作成した議案書を基に、各学級から選出された代議員が中心となって学級討議を行いました。学級討議では、生徒会執行部の提案に対する質問や意見が出されました。生徒総会では、これらの質問や意見、そして生徒会執行部からの回答を全員で確認し、これからの生徒会活動について共通理解し、全員で実践していきます。

生徒会活動は、生徒の自治的活動です。生徒の皆さんが豊かな発想をし、創造力を高めていくことを期待しています。また、自分で考え自分で正しく判断し行動することができるようになることを期待しています。生徒総会で、どのような姿を見せてくれるのか楽しみにし、教師全員で支援していきます。



【学級での討議のようす】

学校運営協議会で学校評価をしていただきました

2月26日(金)に開催予定であった学校運営協議会は、緊急事態宣言の延長により開催することができませんでした。本来であれば、委員の皆様へ授業を参観していただき、感想を述べていただいたり、生徒の地域での様子等について意見交換したりする予定でした。また、「学校関係者評価(学校の1年間の教育活動に対する評価)」をしていただき、来年度の学校運営に向けて意見をいただくことにしていました。

学校は「本年度の重点目標」がどのくらい達成できたか、生徒の力は高まったのか、そのための方途は有効であったのか、課題は何か等の「学校の自己評価」を行います。諸テストの結果やいじめ問題・不登校の実態、生徒・保護者・教師アンケート等の結果を分析・考察し、評価を行います。この「学校の自己評価」を報告・説明し、学校運営協議会委員の方々から「学校の実践や取組」と「学校の自己評価」に対し、評価をしていただきます。本年度は協議はできませんでしたが、ご意見をいただきましたので紹介します。

【確かな学力の定着について】

- コロナ禍で学力をつけ結果を出すことは難しい状況かと思うが今後もサポートをお願いしたい。
- 「相談できる先生や友達がいる」点が高いところから、学習面でも質問しやすい雰囲気作りができているのだろうと感じる。
- 臨時休校による学力不足を感じる保護者もいたようだが、授業において複数のやり方を準備していた先生方には感謝したい。

【豊かな心の醸成について】

- 行事が制限される中、できることを模索し活動できたことは素晴らしかったと思う。
- 今後もいじめ問題解消や障がい者への理解が深まるよう人権学習の充実を期待したい。
- コロナ禍でより丁寧に生徒への対応ができ、コミュニケーションがとれていたのだと察している。

【信頼される学校づくりについて】

- 学校環境の一層の向上を望みます。
- メールやHPの活用は情報発信としては有効であるが、一方通行にならないよう配慮してほしい。
- 修学旅行の実施は感謝している。先生方が苦労したおかげで実現できた。
- コロナ禍の中、全職員で危機管理マニュアルのもと生徒の安全第一に教育活動したことで、大きく数値を下げず終えることを評価したい。

いただいたご意見を参考に、本年度の成果と課題を客観的に分析し、次年度への準備を進めていきます。特に、本年度は実施できなかった学校行事や地域と連携した取組については、これまでの内容や方法を見直し、「どのようにすれば実現できるか」を考えていきたいと思えます。

3月12日(金)に第36回卒業証書授与式を挙行政いたします。緊急事態宣言は解除されましたが、これまでどおり、学校は感染症予防対策を行っていきます。ご家庭においても、検温、手洗い、マスクの着用等のご協力をお願いいたします。